

5. ICANN At-Large 諮問委員会(ALAC)報告内容要約

Q: 自己紹介をお願いします。

James Seng です。

ICANN には 10 年以上参加していますが、主に IDN 関連の問題に関与していました。指名委員会からの指名で、At-Large 諮問委員に選出されました。

Q: ALAC (At-large 諮問委員会) の活動について教えてください。

時々には違いますが、ICANN プロセスの中で、方針検討に関与します。現在関与している代表的なものは 4 つで、

- ・ 説明責任と透明性に関するレビューチーム
- ・ ICANN 運営計画と予算計画
- ・ IDN ccTLD のポリシー策定プロセス(PDP)
- ・ 新 gTLD のドラフト申請者ガイドブック(DAG)

私はこの中で特に、新 gTLD の DAG に、IDN の観点から関与しています。

また、この度 ICANN では At-Large 選出で投票権を持った理事の議席が設けられたので、今後 2 ヶ月間はこの準備で忙しいです。

Q: どれが一番重要だと思いますか？

説明責任と透明性に関するレビューチームだと思います。

このレビューチームの成果は、インターネットユーザの声を ICANN が取り上げられるかどうかを決め、ICANN の長期間に渡る価値を決めるものだと思うからです。

Q: ICANN がどのような役割を持つべきか、あなたの考えを聞かせてください。

ICANN は、インターネット資源を取り扱うポリシーを定める、非常に特別なポジションにいます。

それを定めるには、法的観点の検討や、プロセスの計画が必要です。

インターネット資源は複雑で、その複雑さは、IP アドレスとドメイン名といった資源の違いによっても複雑さが異なります。

IP アドレスでは、今 IPv4 アドレスが枯渇しようとしていて、これらをどう、公平に、透明なプロセスで必要としている人々に分配するかという問題があります。また、IPv6 インターネットにどのように移行していくかという問題もあります。

ドメイン名では、既存の TLD に対して新たな gTLD や、IDN ccTLD が加わります。これら新しい資源には、新しいポリシーと、プロセスが必要です。

このようなポリシーやプロセスの検討には、政府、プライベートセクター、ユーザーといった様々なステークホルダーの関与が必要です。ALAC はここにユーザーの観点から参加していて、ICANN に興味を持つ人々からなるローカルコミュニティが集まって成り立っています。

Q: そういう ICANN の役割を果たす上で、何が難しいポイントでしょう。

マルチステークホルダー組織で、加えて、希少な資源や複雑な資源の問題を取り扱いますから、簡単なことは何也没有せん。

時には予期しない結果を見ることもあります。しかし、ベストを尽くすことであらゆるコミュニティを納得させることができるだろうし、それがインターネット全体として最良なことだと思います。

Q: ICANN に興味がある参加者数十人があなたを見ていますが、何かメッセージを。

興味がある方は ICANN プロセスに参加することを強くお勧めします。

ユーザーとしての意見であれば、ALS - At-Large Structures に参加することです。

ありがとうございました。